



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2015

7月31日号

147
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7 TEL/FAX 024 (559)1043

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

会長就任にあたり BOSS & LEADER



会長 新里 昌一

齋藤前会長の後を引き継ぎ、会長に任命され務める事になりました。齋藤前会長には、並々ならぬご指導を頂きました。私が自棄を起こした時、親身になって相談に乗って頂き感謝しております。今後は事務局として、より一層のご指導をお願い致します。また、いつもご指導頂いている片倉監事、遊佐副会長、阿部さんには、今後ご指導やお力添えをお願い致します。伊藤さんには、事務局を長年努めて頂き大変感謝しております。顧問として、さらにご指導をお願い致します。

会員の皆様、新しい理事や地区委員会の皆様どうぞ宜しくお願い致します。将来は、会長になる事は概ね理解していましたが、まだ先の事と安易に考えていました。副会長1期での会長就任が、プレッシャーを感じないと言ったら嘘になります。今まで礎を築いて頂いた先輩方に敬意を表して、これから未来に向けた活動を展開して行きたいと考えます。

県総会では、会場から「東電や政府への不満や不信感、それに対する会としての指針や方針を示して欲しい」との意見を頂きました。会長として、その場では答えられず、大変失礼致しました。個人的には賛同しますが、除染が遅いとかを行政には強く働きかける事は難しいです。理事会でも検討しますが、放射線に対する正しい理解等の啓蒙活動や、住民避難訓練への参加等を中心に活動していきます。弱腰と言われるかも知れませんが、政治団体ではないので何卒ご了承ください。

今年の4月1日より、診療放射線技師の業務範囲が拡大されました。拡大した業務は、全ての診療放射線技師が対象で、新たな教育と研修をして認定を受けなければなりません。4年後には、このカリキュラム追加を受講した学生が国家試験に受かり技師になって来ます。それまでに、全ての技師の講習を終えたいとの意向です。厚労省は、講習を受けた技師に「受講証明書(法律改正の認定資格)」を発行し、受講者名を把握する事も決まっています。臨床検査技師の法律改正では、研修実習を受けなければいけません。違反すれば、法律違反となると指導されています。診療放射線技師は、努力義務で今回の統一講習会を行います。

しかし、受講料も全てセットだと15000円もかかります。色々課題や問題も多いですが、県内でも進めて行く事になります。ただ、日放技の思惑通り、会員がすんなり受講して頂けるかは疑問が残ります。

ある風刺画で「ボスとリーダーの違い」を描いていました。ピラミッドや城の石垣に使うような大きな石(ビジネス)を、部下が縄をかけて引っ張り動かしています。皆さんも想像してみてください(ネット検索でも画像が出ます)。

ボスは、その石の上の椅子に座って、威張り引っ張るように大声で脅しています。一方、リーダーは部下の先頭に立ち、一緒に汗をかき頑張ろうと皆を励まして石を引っ張っています。誰でもボスの下でより、リーダーと一緒に働きたいと考えます。

私は、この風刺画を見てハッとしました。自分はボスになっていないだろうか?会長になっても、皆さんと伴に進んで行きたいと思えます。

こんな風に一応気概はありますが、実際に勤まるかは全てが未知数の塊です。歴代の優秀な会長と比べると、頼りなく感じるかも知れません。顔も童顔で、ちっとも怖くなく威厳もありません。まだまだ未熟ではありますが、皆さんのより一層のご理解やご協力をお願いします。

平成27年度 第2回理事会議事録

日時：平成27年6月12日14時～16時15分
 場所：県立医大病院放射線部カンファレンス室
 出席理事：新里昌一 遊佐 烈 平井和子 阿部郁明
 菅野和之 堀江常満 佐藤孝則 佐藤佳晴
 池田正光 佐藤政春 白石嘉博 鍵谷 勝
 鈴木雅博 森谷辰裕 池田昭文 田中邦夫
 出席監事：片倉俊彦
 指名出席：伊藤陸郎顧問、齋藤康雄事務局長、
 本田清子事務局員、笹川克博事務局員

欠席理事：秋山淳一
 欠席監事：高橋宏和

遊佐副会長の司会で開会し、議長は新里会長が就任し、議事記録員に会津地区担当理事を指名し議事に入った。

【議 事】

1. 新運営体制について

新里会長から、定款30条に基づき伊藤陸郎前事務局長を顧問に委嘱したい旨の提案があり、異議がなく承認された。

新里会長から、定款31条に基づき、事務局として齋藤康雄事務局長、本田清子事務局員、笹川克博事務局員の3名を任命した旨の報告があった。

新里新会長から会長就任として挨拶、平井新副会長から副会長就任の挨拶があった。また、新運営体制となり、新しく理事として就任した役員もいたため、各々自己紹介の挨拶を行った。

ネットワーク委員会より（菅野理事）

- ・今回、理事会資料ダウンロードサイトにアクセスできず、ファイルがダウンロード出来ない場合があったと報告があった。もし、今後も不具合が出たらその都度メーリングにて菅野理事まで連絡をして頂くようお願いする。
- ・ネットワーク委員会の実務担当として、田代雅実氏が引き続き担当して頂けるとの承諾を頂いた。
- ・合同委員会の前までにはメーリングリストの整備をしたいので、理事会、各地区協議会や実務を担当する委員のメールアドレスを早急に菅野理事まで送っていただきたい。
- ・理事会事務局を理事会MLに配置する。

・退任理事の理事会MLのメールアドレスについては、今までのお礼を申し上げた上で削除するとの事とした。

表彰委員会より（齋藤事務局長）

- ・今野英麻呂氏の平成27年度日本診療放射線技師会功労表彰に関して、表彰の推薦を行うべく進めている。
- ・平成28年度春の叙勲候補者として、馬場栄二氏、片倉俊彦氏、齋藤康雄氏の3名の名前が挙がっており、叙勲を受けるかどうか会長から本人に確認してもらうこととした。この会議の席で齋藤康雄氏から今回辞退の申し出があった。

編集委員会より（白石理事）

- ・福島放技ニュースを奇数月に発行を予定しているが、7月分に関しては合同委員会後では間に合わないのので、各地区協議会についての原稿を掲載する予定であり、各地区委員長は白石理事までメールで送って欲しいとの要請があった。

学術委員会より

- ・平成27年度公益社団法人福島県診療放射線技師学術大会の演題募集の案内を早めにFARTのHPに載せる。

2. 平成27年度事業について

業務拡大に伴う統一講習会（堀江理事）

- ・法改正に伴って実施される統一講習会を受講して合格すると、厚生労働省公印の修了書が発行される。

しかし、統一講習会を実施するには申込人数が最低20名ほど必要で講師も最低4名確保しなければならない。昨年まで静脈注射抜針講習会の受講済みのJART会員であっても会費が割高で、各施設で受講希望者がどれだけいるのかが不明であり、場合によっては南東北3県合同の講習会となる可能性もある。

県単独で行うのであれば郡山、3県合同であれば福島が適していると思われる。福島県では9月と12月に開催を予定しているが、事前に受講希望アンケートを採ってから開催するかどうかも考慮している。

ただし、注腸X線検査臨床研修統一講習会に関しては、他県の報告例から鑑みるに開催した方がよいのではとの意見があった。この統一講習会の様々に関して、7月12日にJARTの新任会長会議の席で新里会長が発言し確認してみるとのことであった。

- ・岩手で行われる放射線防護セミナーの参加者が少ないので、参加を促してもらいたいとの事で、HPに掲載する事とした。

研究助成金申請に関して (菅野理事)

当会HPに対する取り組みとそのアクセスの解析からみた情報伝達に関して、ネットワーク委員会として第31回日本診療放射線技師学術大会にて発表し、東北放射線医療技術学術大会でも発表する予定であり、そのために旅費として研究助成金申請をしたとの報告あり。その席で片倉監事より、研究助成金は何らかの研究に対する機材備品の購入のための金であるので旅費として申請するのは如何なものかとの発言があり、福島県診療放射線技師会規定の中に旅費に関する規定があるので、改めて旅費として申請することとした。

CDデuplicaterの更新について (遊佐副会長)

総会議案をCDで各会員に配布しているが、そのCD作成用デuplicaterが故障して使えなくなった。故障したものは片倉監事が会長を務めていたときに導入したものであるため、更新したい旨の提案があった。この提案に対し、他県の例をみても会報への綴じ込みや冊子の作成を行っている県も多々あるので、CDではなく紙ベースの議案書の作成も検討してはどうか、ネット配信の可否やCD同封の是非についてなどの議論が交わされたが、ネット環境にない会員もいることや作成経費、会計事務所からの最終決算報告から総会までの時間が短いなどの理由から、現状ではCDで配布せざるを得ないとの結論になり、CDデuplicaterを更新する事が承認された。

ICレコーダーの新規購入 (前回理事会より継続)

1台当たり5,000円程度なので、2台購入する事で承認された。

平成27年度予算案について

片倉監事より発言あり、各イベントや事業に対する具体的な予算割り振りがされていないので、もっと詳細に割り振りを決めた予算案を提示する必要があるとの意見が出された。新里会長より、合同委員会までに詳細な一覧を発表するとの話があった。

3. 報告他

第75回 (公社) 日本診療放射線技師会定時総会報告 (別紙で報告)

- 環境省の個人被ばく線量把握事業の委託事業および役員勤務時間について (新里会長)

遊佐副会長より、学会発表などで想定値や測定場所を公表できないなら、放射線技師会として行う理

由が見当たらない。環境省に対して放射線学会等で発表可能な委託事業とすることは出来ないのかとの質問があった。執行部の回答として、環境省からの委託であるため、データに関する意見は出来ても変更は出来ないとのことであった。また、役員報酬の変更に関する質問である「専従の週4日の勤務時間」の回答として、常識範囲内での回答だったとのこと。

リレーフォーライフ寄付と参加に関して

広告掲載料という形で¥10000 - を支払っている。参加に関しては、各地区で参加を呼びかけた上で希望者が集まればFARTとして参加することとした。

片倉監事より発言あり、公益社団法人として、会計事務所に委託料を支払っているが、源泉徴収分を上乗せして支払うべきなのではないかとの提案あった。理事会として意義なく承認された。

菅野理事より、HPの修理修繕費用に関してどのように支出するかとの発言あった。新里会長より、後日会計と相談して時期を決めることの返答があった。

新里会長より、会長交代の案内状を賛助会員や各県技師会、県内各施設長宛に送付する。また、新会長として名刺を新調したとの報告があった。

齋藤事務局長より、各イベントを行った際には必ず報告書を上げていただきたい旨の要請があった。報告書はFARTのHPよりダウンロード可能で開催名と参加人数の報告は必ず記載をお願いする。また、各イベントを企画する際の申請と報告に執行理事の押印が必要ではないかとの話があったが、流れが決まっていなかったため後日検討することとした。

- ・現行定款では、理事会の議事録は出席理事監事の署名押印になっているが、司法書士より記名押印に簡略化できるので、定款の改正を検討してはどうかとの助言があったので、今後28年度総会での提案に向けて検討していくことになった。

伊藤顧問より発言あり、7月中旬頃に登記が完了する見込みとのこと。また、役員改選時の総会の議事録は、登記用の議事録と正式な議事録が別々に作成する方法もある。その方が総会時に出席理事の署名押印を貰えるので、時間的に効率がよいのではと司法書士より助言があったとのことで、今後検討することにした。

ネットワーク委員会菅野理事より発言あり、イベント申込は改ざん防止と掲載の手間を省く観点からpdfファイルで送ってほしいとのことだったが、堀江理事より生涯教育委員会としてはpdfファイルでは登録するのにコピペが出来ないのでwordファイルで送付してほしいとの要望があり、議論の結果、両方のファイルを作成した上で、生涯教育委員会経由でネットワーク委員会に送ることとした。

以上

《受賞おめでとうございます》

第70回定時総会にて功労賞を受賞された今野英麻呂氏、学術論文賞を受賞された高橋大輔氏、永年勤続表彰された布川真理子氏から一言をお寄せ頂きましたのでご紹介します。

受賞された皆さまおめでとうございます。



功労賞を受けて

福島赤十字病院

今野 英麻呂 氏

平成9年4月より福島県放射線技師会の理事として任命され、平成22年3月までの7期14年間に編集広報の担当理事として主に会報の作成に携わり、現在は県北地区協議会の監事を担当しております。

振り返れば県の理事を14年間・地区理事を22年間務めさせていただき、多くの会員の皆様との交流のなかで色々ご指導をいただき、またお世話になり良い経験となりました。技師会も福島県放射線技師会から社団法人そして公益社団法人への変遷をたどり、ますます地域医療への貢献が期待されることと思います。

最後に、この度の受賞に際しご推薦をいただきました事務局の皆様への御礼と、公益社団法人福島県放射線技師会の益々の発展を祈念しご挨拶とさせていただきます。



学術論文賞を受けて

北福島医療センター

高橋 大輔 氏

この度は学術奨励賞・論文賞をいただき、誠にありがとうございます。多大なるご助言とご協力をいただきました諸先輩方ならびに当院スタッフ一同にこの場をお借りして、心より深く感謝申し上げます。

今回、表彰いただきました「MPG先行パルスを用いた拡散強調撮像法における撮像パラメータと拡散強調効果について」は、大学院を修了するにあたり、これまで当院で行ってきた研究内容についてまとめさせていただいたものです。この研究を通して、実験の進め方や正しい評価方法を学ぶことができました。また、伝えたいことをグラフや文章で表現する事の難しさを感じ、大変勉強になりました。

今後も自己研鑽に励み、診断・治療により有用な画像を提供していけるよう努力してまいりますので、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



永年勤続表彰を受けて

渡辺病院

布川 真理子 氏

永年勤続20年の表彰をいただき、ありがとうございます。これもご指導くださった諸先輩方や、一緒に切磋琢磨してくれる同僚たちのおかげと深く感謝しております。

私は、平成7年に渡辺病院初の女性診療放射線技師として入職しました。当時は男性に劣るまいとただひたすら一生懸命だったように思います。時に空回りしたり、大失敗した事もありましたが、先輩方は丁寧に根気強くご指導くださいました。また、マンモグラフィをとおして出会った多くの女性技師さんからは大変刺激を受け、もっと私も頑張ろうと思いました。

震災後病院は新築移転し新たなスタートを切り、私も乳房超音波に挑み始めました。一人だった女性技師は6人に増え、とても華やかに(?)になりました。これからも初心を忘れず、何事にも興味を持って日々精進したい

と思いますので、変わらぬご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

《セミナー便り》

▶ 第15回福島県MRI技術研究会

5月30日(土)「第15回福島県MRI技術研究会」が、コラッセふくしまで開催されました。昨年を上回る、技師84名、メーカー6名、講師医師1名の合計91名の方が参加しました。

「シンポジウム 当院における脈管系 & Hydrography MRIの現状」は県内4施設から発表を行いました。各施設での検査や前処置の違いが、浮き彫りなり参考になりました。

「技術講演」は、メーカー2社から講演を頂きました。

「可変再収集フリップアングル (VRFA) 高速SE撮像の基礎と応用」

「現代の静音撮像技術」

「肝癌診療におけるMRIの役割」を東京医科大の齋藤先生が講演しました。肝癌の診療ガイドラインが2014年に改正されて、CTダイナミック検査よりMRIのEOB検査が第一選択になりました。そのMRIのEOBの優位性について、臨床例の画像を多く含めて分かりやすい解説して頂きました。その他、EOBの注意点等も詳しく教えて頂きました。

なお、今年度は、新たな企画も検討中ですので、また参加をお願い致します。(新里)

▶ 第18回福島県CTピギナーズセミナー

6月20日、福島テルサにおいて「第18回福島県CTピギナーズセミナー」が開催された。今回はCTの線量測定というテーマで、アクロパイオの松葉健氏先生に『CT Dose Profilerを使用したCTの線量測定』、東洋メディックの黒田武弘先生に『Monte Carlo アルゴリズムを用いたCT患者線量計算ソフトウェア』のご講演をいただいた。松葉先生には“Piranha”を用いたCT線量測定方法をレクチャーしていただいたうえ、実効エネルギーや時間分解能に関してのご意見も聞くことができた。また、黒田先生のご講演ではMonte Carloアルゴリズムを用いた計算の実演や、計算で得られた線量分布の画像を見ることができた。(足利)

▶ 第28回福島県臨床画像研究会

6月13日(土)「第28回福島県臨床画像研究会」が、福島テルサで開催されました。技師会会員49名、非会員6名の方が参加しました。

一般公演「CTガイド下生検 診療放射線技師の役割」は、総合南東北病院白井さんが講演しました。担当技師が心がける事などを詳しく説明しました。



(研究会の様子：座長は遊佐副会長)

特別講演「術中MRIシステムを併用した脳神経外科手術」を山形大脳神経外科の楼田准教授が講演しました。術中MRIを用いた200例の手術からの経験を詳しく講演しました。まだ、導入している施設は多くないですが、有用性が高いことが理解出来ました。

この会は、放射線科医と技師の合同研究会です、また参加をお願い致します。(新里)

▶ 南東北デジタルマンモグラフィ技術セミナー開催

6月20日(土)にコラッセふくしまにおいて、宮城、山形、福島三県の乳房撮影研究会が合同で企画した「南東北デジタルマンモグラフィ技術セミナー」を開催。今回が3回目で、福島県が担当した。マンモグラフィのデジタル化が進み、乳房画像診断もハードコピーからフィルムレスやソフトコピーへと移行しており、新たな環境における品質管理について、精中機構の技術委員を務める先生方に講演していただいた。



(多くの受講者にて盛況のセミナー)

福島県78名、山形県32名、宮城県12名、合計122名の多くの方に参加いただいた。

話題提供 「デジタルマンモグラフィの最新の話題」
 GEヘルスケアジャパン 東尾良介 氏

講演1 「乳がん検診」
 精中機構のめざす精度管理
 東北大学病院 齋 政博 先生

講演2 「ソフトコピー」
 診断のピットホールにはまらないためにー
 岐阜医療科学大学 准教授 篠原範充 先生
 (平井)

常任理事 堀江常満 常 任 生涯教育委員長

理 事 佐藤孝則 県 北 学術委員長

理 事 佐藤佳晴 県 北 調査委員長

理 事 池田正光 県 北 財務副委員長

理 事 佐藤政春 県 南 精度管理委員長

理 事 白石嘉博 県 南 編集副委員長

理 事 鍵谷 勝 県 南 調査副委員長

理 事 鈴木雅博 会 津 学術副委員長

理 事 森谷辰裕 会 津 生涯教育副委員長

理 事 秋山淳一 浜 通 精度管理副委員長

理 事 池田昭文 浜 通 学術副委員長

理 事 田中邦夫 浜 通 生涯教育副委員長

監 事 片倉俊彦 県 北

監 事 高橋広和 外部監事

《お知らせ》

平成27年・28年役員紹介

会 長 新里昌一 会 長 総務企画・表彰
 副会長 遊佐 烈 副会長 災害策委員長
 副会長 平井和子 副会長 編集委員長
 常任理事 阿部郁明 常 任 財務委員長
 常任理事 菅野和之 常 任 ネットワーク委員長

事 務 局 齋藤康雄 県 南
 事務局員 本田清子 県 北
 事務局員 笹川克博 県 南
 顧 問 伊藤陸郎 県 北

地 区 だ よ り

県 南 地 区

平成27年4月22日(水)、県南地区協議会全体会がビッグアイにて開催されました。



(全体会の様子：議長の井戸沼氏)

議長に井戸沼俊英氏(星総合病院)が選任され、会員数201名中、出席者155名(うち委任状出席者132名)を以って事業計画など全ての議案が承認されました。

開催事業に関しては、随時案内状を発送いたしますが、県技師会のHPにもアップしていますので、ご参照ください。

- ▶ 県南地区事業と技師会への入退会に関しては、事務局までお問い合わせください。
- ▶ 平成27年・28年度の県南地区協議会委員をご紹介します。

【県南地区役員紹介】

委 員 長 佐藤政春 (三春町立三春病院)

副委員長 白石嘉博 (星総合病院)

副委員長 鍵谷 勝 (総合南東北病院)

財 務 菅野修一 (田村市立都路診療所)

事 務 局 山口 大 (寿泉堂総合病院)

厚 生 元木弘之 (太田西ノ内病院)

厚 生 濱端孝彦 (坪井病院)

学 術 篠原宏幸 (白河病院)

厚 生 照井英樹 (太田熱海病院)

学 術 真船浩一 (公立岩瀬病院)

学 術 国分美加 (総合南東北病院)

厚 生 加藤利夫 (日東病院)

学 術 吉田 賢 (白河厚生総合病院)

学 術 金澤孝彦 (白河厚生総合病院)

厚 生 伊藤 敬 (寿泉堂総合病院)

学 術 石森光一 (塙厚生病院)

厚生	鈴木博紀	(桑野協立病院)
監事	伊野拓朗	(須賀川病院)
監事	鈴木博文	(星富久山医院)

(県南地区協議会 委員長 佐藤政春)

県北地区

平成27年4月28日(火)、県北地区協議会全体会が福島テルサにて、会員数166名中、32名の参加と101名の委任状でもって開催されました。

大会は、26年度報告、27年度計画案も提案通り可決されました。今年度の役員改選が発議され、平井和子委員長始め5人の方が退任を申し出られ、新たな会員も含め、下記の18名の委員が推薦され了承されました。

また、6月19日(金)に第1回県北地区協議会委員会が福島県立医科大学附属病院で開催されました。委員会では、勉強会、交流会について、また、健康フェスタの企画内容等について話し合いが行われました。地区だよりの記事募集の協力と要請がありました。また、先におこなわれた県の理事会の決定事項についての報告もありました。

【県北地区役員紹介】

委員長	佐藤孝則	(福島県立医科大学病院)
副委員長	佐藤佳春	(公立藤田総合病院)
副委員長	池田正光	(福島県立医科大学病院)
生涯教育	笹木 毅	(公立藤田総合病院)
編集広報	阿部雅浩	(福島保健衛生協会)
ネットワーク	齋藤聖二	(須川診療所)
調査	阿部 智	(大原総合病院)
学術	松井大樹	(北福島医療センター)
生涯教育	小池沙織	(北福島医療センター)
精度管理	三浦 勉	(二本松病院)
調査	佐藤勝行	(福島赤十字病院)
精度管理	佐藤勝正	(福島県立医科大学病院)
ネットワーク	渡辺 進	(わたり病院)
学術	樺山誠治	(済生会福島総合病院)
調査	角田智高	(福島保健衛生協会)
編集広報	安藤智則	(大原総合病院)
会計事務局	宮岡裕一	(福島県立医科大学病院)
監事	今野英麻呂	(福島赤十字病院)

(県北地区協議会 委員長 佐藤孝則)

会津地区

今年度、福島県診療放射線技師会-会津地区協議会では、役員改選により委員長をはじめ大幅に役員が入れ替わりました。

診療放射線技師の業務拡大、チーム医療の推進、地域医療連携の普及など医療改革の折、会津地区協議会におきましても、診療放射線技師会・会津地区の医療発展に全力を尽くし皆様のご期待に添うよう努力してまいりますので、会員におかれましては、格別のご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

【会津地区役員紹介】

委員長	鈴木雅博	(竹田総合病院)
副委員長	森谷辰裕	(会津中央病院)
会計	山下朋廣	(竹田総合病院)
事務局	井上基規	(竹田総合病院)
監査	小松一文	(会津中央病院)
	遠山和幸	(県立南会津病院)
学術	小沼慎一郎	(会津中央病院)
	二瓶秀明	(竹田総合病院)
	長谷川克己	(会津医療センター)
マンモ専任	松野佳子	(竹田総合病院)
編集	森谷辰裕	(会津中央病院)
	浅川和弘	(県立南会津病院)
総務	小枝麻加	(有隣病院)
	佐藤秀樹	(坂下厚生病院)
	白岩大輔	(会津中央病院)
表彰	松枝直宏	(竹田総合病院)
顧問	白川義廣	(竹田総合病院)
	渡部育夫	(会津医療センター)
	山田隆弘	(会津中央病院)

平成27年度事業計画としまして

- ・会津画像研究会の開催
- ・会津乳房撮影研究会の開催
- ・会津若松市健康まつりへの参加

この他、会員からの新たな要望なども積極的に取り入れて事業に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(会津地区協議会 委員長 鈴木雅博)

浜通地区

この度、福島県診療放射線技師会浜通り地区協議会委員長に就任しました公益財団法人ときわ会常磐病院の秋山と申します。

身に余る重責でございますが、会の発展のために全力を尽くし、皆様の御期待に添うよう努力する所存です。



(浜通り地区協議会 全体会の様子)

さて、2011年3月11日の東日本大震災の影響で国道等が潰滅状態になり、浜通りは南北に分断されました。そのため震災前、期的に開催されていた相双地区・いわき地区合同の勉強会が開催出来ずにはありましたが、2015年3月に常磐道が全線開通しましたので、今後は相双地区・いわき地区の交流を深め、公益性のある活動を進めて参ります。

< 新任役員紹介 >

委員長	秋山淳一	(常磐病院)
副委員長	田中邦夫	(いわき市立総合磐城共立病院)
副委員長	池田昭文	(渡辺病院)
会計	草野義直	(いわき市立総合磐城共立病院)
監事	船生晴雄	(松村総合病院)
委員	鈴木規芳	(呉羽総合病院)
委員	菅原正志	(福島労災病院)
委員	大和田重義	(公立相馬総合病院)
委員	花井辰夫	(南相馬市立総合病院)
委員	大井和広	(小野田病院)
委員	末永徳明	(大町病院)
委員	穴澤明弘	(鹿島厚生病院)

< 事業計画 >

- ・いわき地区画像研究会
平成27年9月 / 平成28年1月 (予定)
- ・相双画像診断勉強会 未定
- ・市民フォーラム救急医療いわき2015
平成27年9月 (予定)
- ・南相馬市福祉まつり
平成27年10月 (予定)
- ・浜通り地区合同勉強会
平成27年9月 (予定)

(浜通り地区協議会 委員長 秋山淳一)

メールマガジン登録方法の案内

メールマガジン配信を希望する方は、

fart@star7.jp

に空メールを送信してください。

登録完了メールが届きます。

以上で登録完了です。

編集後記

6月28日に合同委員会が開催されました。各委員会にて、今後の事業展開について打ち合わせが行われ、その報告が各委員会からあり、新体制下での実質的なスタートの日となりました。

このニュースを担当する編集広報委員会では、手にとって情報を見ていただけるよう工夫を重ねていく事としました。もちろん内容もしっかりです。今後とも会員諸兄に必読のニュースを心掛けて参ります。 (白石)

平成27年度 福島県診療放射線技師
学術大会のお知らせと演題募集

平成27年11月15日(日)

大会長

新里 昌一 (福島県診療放射線技師会会長)

実行委員長

佐藤 孝則 (福島県診療放射線技師会学術委員長)

会場

星総合病院 ポラリス看護学院メグレスホール

主催

公益社団法人 福島県診療放射線技師会

演題募集期間

平成27年7月6日(月)～8月31日(月)

詳細は、福島県診療放射線技師会の

ホームページの「演題募集」ページで

大会事務局 〒960-1295 福島市光ヶ丘1

福島県立医科大学附属病院 放射線部内

佐藤 孝則 ☎ 024-547-1485

✉ taka@fmu.ac.jp